



Vol.32

2015 SPRING

まんだらげ

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

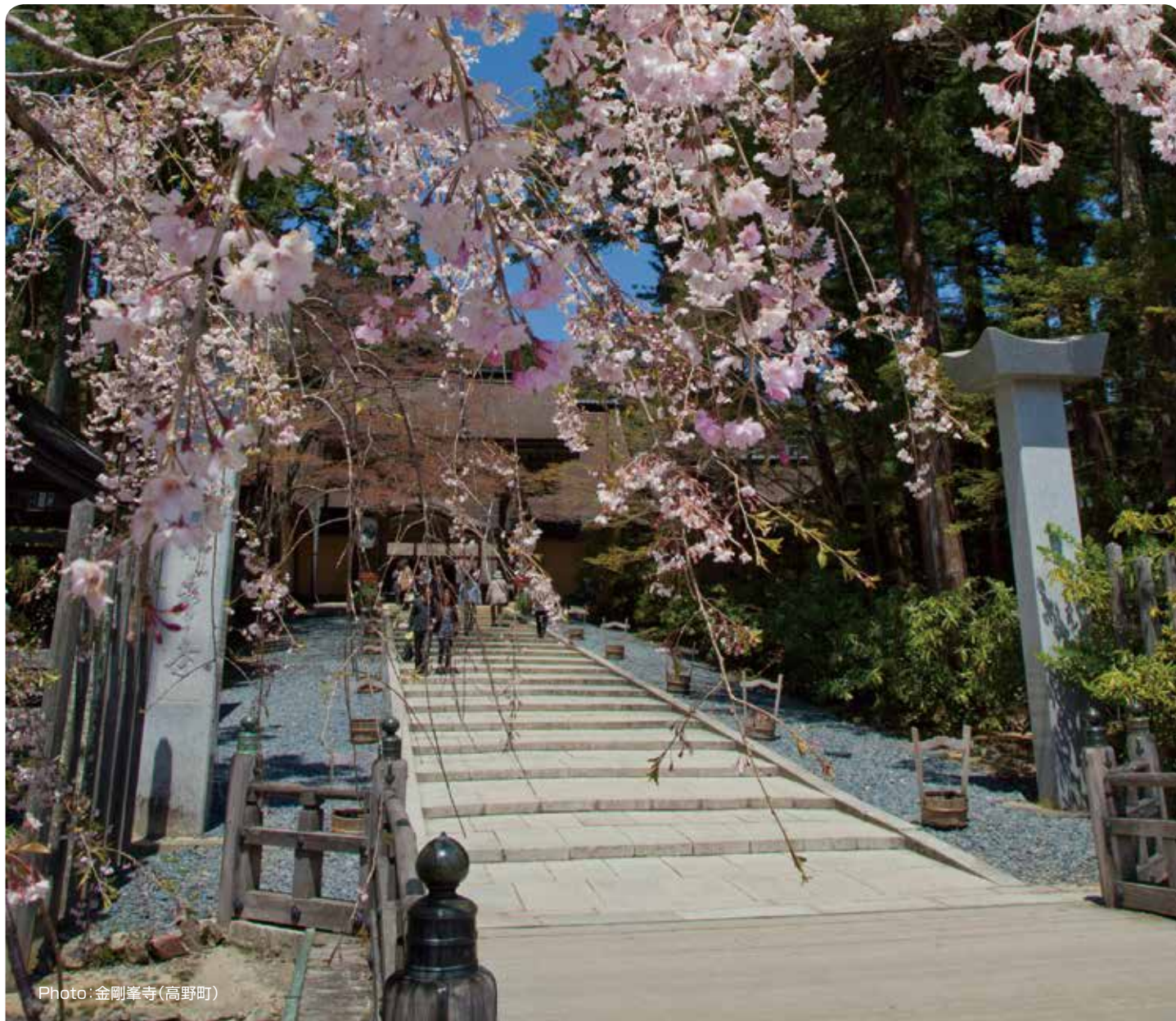


Photo: 金剛峯寺(高野町)

Contents

特集Ⅰ / 創立70周年SPECIAL対談

特集Ⅱ / 和歌山県初！

直腸がんロボット手術に成功

お知らせ / 看護職員募集について

TOPICS / 看護職員等研修について

ミャンマー連邦共和国との学術交流について

「第2回がんのリハビリテーション研修会in和歌山」開催

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめるその成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

最先端医療の提供、地域医療支援、 高度医療人の育成に向けて ～和歌山県立医科大学附属病院の挑戦～

1945年に和歌山県立医学専門学校として設立され、今年で創立70周年となる和歌山県立医科大学。大きな節目を迎え、医科大学としてまた県の医療拠点として、今後の課題や挑戦について、岡村吉隆学長、吉田宗人病院長、岡本恭子看護部長が語りました。



理事長・学長
岡村 吉隆



病院長・整形外科教授
吉田 宗人



副院長・看護部長
岡本 恭子

——平成26年度はどのような取り組みを推進されましたか

岡村 平成23年から学内に設置されていた「和歌山県地域医療支援センター」を、平成26年4月に新棟（附属病院東棟）に移転し、機能の充実強化を図りました。併せて、地域医療支援の一環として「遠隔医療支援システム」を導入し、遠隔外来もスタートさせました。

吉田 この東棟内に手術室を7室増室し、中央手術部は19室体制になりました。また、内視鏡検査治療室も5室から9室に増え、高度な内視鏡手術を行えるような環境を拡充しています。また、より効率的で充実した病理診断のため、組織再編により「病理診断科」を設置しました。

岡本 大学の保健看護学部と病院の看護部による看護連携ユニフィケーションの一つとして、「看護キャリア開発センター」を4月に設置しました。日々進歩する

医療の現場に携わる看護師一人一人に、スキルやプロ意識を向上させるための教育プログラムや支援体制を提供しています。

——平成27年度に導入される医療内容や環境、設備について教えてください

吉田 今年度は「リウマチ・膠原病科」と「形成外科」の2つの外来の新設を予定しています。全国的にみてもリウマチの専門科は少なく、県内でも以前から強く求められていた診療科です。形成外科では、今後新しい専門医制度が始まる中で、再建外科などの要素も含め、院内で不足していた箇所を補強していこうと考えています。

また、前立腺がんなどに応用している手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた手術ですが、今年1月に県内で初めて直腸がん手術を成功させました。保険診

療につなげるべく、大学側が一部費用を負担して、新たに適用拡大をしていく方針です。

岡村 最先端の外科手術設備を備えた「ハイブリッド手術室」では血管内治療と外科治療を組み合わせた治療が可能です。全国的にもカテーテルを用いた大動脈弁の置換が脚光を浴びていますが、当院も現在準備段階で、初夏に開始できる予定です。

岡本 先ほど申し上げた「看護キャリア開発センター」と本学保健看護学部、そして当院の看護部が密に連携を取り、スペシャリストを育てる場をつくっていききたいですね。現場に立つ看護師は今後どのようなキャリアを築いていきたいのかを自身で明確にし、こちらからはそれに応じた知識や技術を身に付けるサポートをします。学生たちには、現場の事例を学べる講義や実習も実施しています。

岡村 今年は大学創立70周年、高野山開創1200年、わかやま国体と大きな行事が重なります。創立記念としまして、祝賀会や記念誌の発行、特別講演などを予定しています。また高野山開創1200年やわかやま国体が開催されることで、多くの訪問客や観光客が和歌山県を訪れます。それに対する医療支援にも積極的に参画する方針です。

——地域医療に貢献する和歌山医大の未来と理想とは

岡村 従来より、医科大学は、「教育・研究・診療を自分の大学の中で行っていけばいい」と意識があったのですが、今は院内だけでなく地域貢献も極めて重要な使命と位置付け、様々な取り組みを進めています。

吉田 より高度で先進的な医療を地域に提供することですが、高い医療の場が地域であるという発想の転換も必要です。一方、和歌山医大が全国から見ても特出した部分を持つことも大事です。「和歌山に行けば先端医療が受けられるよ」と言われる大学病院を目指すべきですね。ひいてはそれが医療産業につながり、和歌山の活性化につながるものと認識しています。



岡村 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会で、当院は「日本パラリンピック委員会推薦メディカルチェック医療機関」に指定されました。リハビリ機能が充実していることから、県はもとより日本中のアスリートをサポートしたいと考えています。

また大学の薬学部設置についても県が前向きに検討しています。県内外の若者を和歌山市に呼び寄せると同時に、医学部・保健看護学部との連携により学生の質の向上や薬剤師の確保が望めます。

岡本 昨年6月に保健師助産師看護師法が改正され、「特定行為に係る看護師の研修制度」が法制化されました。超高齢化社会を迎え、医療関係職種がそれぞれの専門性を最大限発揮し協働する「チーム医療」が推進される中、まだ日本で認定されていませんが、高い能力と実務経験を持つ「特定看護師」が必要とされる場面が今後増えていくと考えられます。

——日々忙しい生活を送られていますが、個々の健康管理は

岡村 忙しいなか時間を探して、ウォーキングや山登りをしてなるべく体を動かしています。時には、大学から家まで10キロほどクロスバイク(自転車)で帰ったりもしますよ。

吉田 僕は毎朝屋外で、腹式呼吸をしながら上半身裸になってシュロのたわしで体を摩擦しています。体の中のストレスを吐き出し、新鮮な空気を内に取り入れる。それで病気もしないし、熱を出して休んだこともない。

岡村 私も35年間無遅刻無欠勤。

岡本 私も負けず劣らず、仕事を休んだことはありません。乾布摩擦はしていませんけれど(笑)。健康法ではないですが、3度の食事と睡眠をしっかり取っています。それと毎朝職場の4階まで、階段を2段抜かしで上っていることぐらいかな。

吉田 僕も階段は2段抜かし。みんな、仕事のストレスをうまくエネルギーに変えてるんですね(笑)。

和歌山県初！ ロボット直腸がん手術に成功

～症例を増やし先進医療へ～

人間の手よりも精緻な動きで、がんの切除・摘出を行うことができるロボット手術。和歌山県立医科大学第2外科が、手術支援ロボット「ダヴィンチ」による直腸がん手術を県内で初めて成功したことを発表しました。



第2外科 教授
山上 裕機



第2外科 准教授
瀧藤 克也



第2外科 准教授
堀田 司

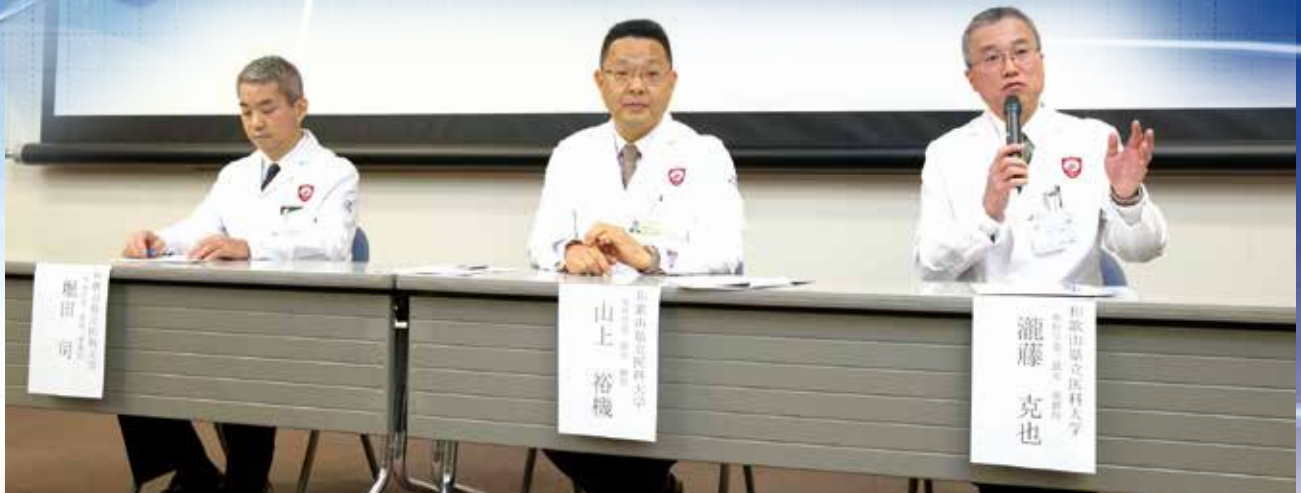
最先端のがん手術として、昨今メディアでも取り上げられることが多いロボット手術。前立腺がんや肺がん、食道がん、胃がんなどの切除摘出手術に適しているとされています。当院でも平成24年に県内でいち早く医療用ロボット「ダヴィンチ」を導入して以来、保険適用の前立腺全摘出手術を中心に症例を積み上げてきました。

今年1月には県内で初めて「ダヴィンチ」を使用した直腸がん手術を行い、成功しました。2月16日に大学内で行われた記者会見で、その手術内

容や有効性、今後の先進医療の流れなどを、第2外科の山上裕機教授、瀧藤克也准教授、堀田司准教授が発表しました。

直腸がんの手術は近年、従来の「開腹手術」に代わって「腹腔鏡下手術」が普及してきました。腹腔鏡下手術は腹部に小さな穴を数箇所開けて行い、開腹手術のように腹部を大きく切開することがないため、術後の痛みが少なく、回復が早いというメリットがあります。

ロボット手術はこの腹腔鏡下手術をさらに進化さ



せたもので、手術台から離れたところにあるコンソール（操作ボックス）で、術者が3次元画像を見ながら、鉗子やメスなどの医療器具を装着させたロボットのアームを遠隔操作し、腫瘍の切除や縫合などを行います。

また、腹腔鏡下手術で完全に克服できなかった欠点を補うように設計されているのも大きな特長です。まず、鮮明な3Dハイビジョン画像により直腸がん手術時に骨盤内自律神経が線維として細かく見えるようになり、精緻な手術が可能となりました。また手術鉗子がコンピュータ制御され、鉗子刺入部に圧力をかけず、術者の思うように動かすことができ、術後の疼痛の軽減も期待できます。さらに人間の手よりも自由度の高いエンドリスト機



能で、あらゆる角度から手術部位にアクセスでき、縫合・結紮時に威力を発揮します。

今年1月中旬と2月上旬に実際に行われた直腸がん手術では、患者の2人とも術後に合併症はなく、経過は良好で1週間程度で退院しました。山上教授は、「消化器の中でも直腸は奥行きが深い場所にあるので、人の手より精緻な動きができるロボット手術は、特に直腸がんの手術に向いています」と解説し、「おなかの中に小さな人間が入ったような感覚で手術ができます」と説明しました。

国内でのロボットによる直腸がん手術は現在限られた施設でしか行われておらず、昨年12月の時点で全国でおよそ600例の報告があるのみです。当院では4人の技術認定医による「ダヴィンチ」の直腸がん手術を今後8人予定。すでに成功した2人を含めた10例を大学側で費用を負担し、技術を高めて症例を増やし、先進医療につなげる意向です。



記者発表風景

お知らせ

看護職員募集について ～オンリーワンのあなたがいい～

当院では、安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療に貢献できる看護職員を募集しています。

独自の先進医療プログラムで学びたい分野を強力にサポートし、1年毎に積み上げていく経験を活かし、看護師としてキャリアアップすることができる職場環境を実現しています。豊富な知識や経験を持つ先輩たちが、目指す夢を応援しています。

県内唯一の特定機能病院である当院で、私たちと一緒に最先端の医療を提供し、地域社会に貢献しませんか？

新人看護職員臨床研修

採用から1年間、新人看護職員臨床研修を行います。看護技術は集合研修と各部署でのOJTによって習得できます。また、必要な知識や技術習得のために、各部署で学習会を開催しています。9月から始まるローテー

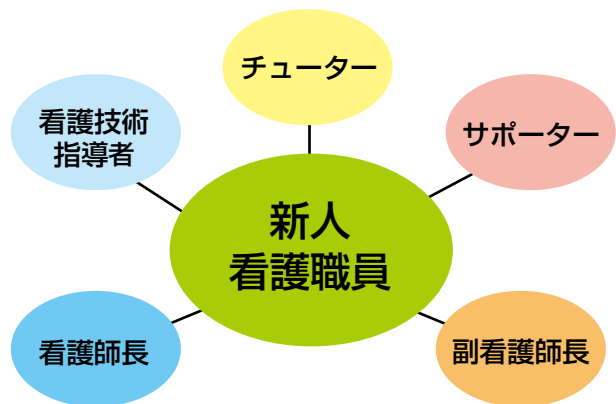


ション研修では、実践的な技術を習得するとともに様々な業務を経験することができます。



新人看護職員への支援体制

チューター制を導入し、採用からの1年間、チューター、サポーター、技術指導者をメインに看護師長、副看護師長と部署全体で新人看護職員を支援しています。



公立大学法人和歌山県立医科大学 看護職員採用選考試験案内

■受付期間

- 第1回 平成27年 3月 9日(月)～平成27年 4月10日(金)
- 第2回 平成27年 6月 8日(月)～平成27年 7月10日(金)
- 第3回 平成27年 7月13日(月)～平成27年 8月 7日(金)
- 第4回 平成27年 8月10日(月)～平成27年 9月11日(金)

■試験日及び試験場所

- 第1回 平成27年 4月25日(土) 和歌山市
- 第2回 (日程1)平成27年 7月25日(土) 和歌山市
(日程2)平成27年 8月 1日(土) 和歌山市・新宮市
(日程3)平成27年 8月 8日(土) 和歌山市
※第2回は日程1～3の内、希望する日に受験できます。
- 第3回 平成27年 8月22日(土) 和歌山市
- 第4回 平成27年 9月26日(土) 和歌山市
・試験は、総合検査(SPI3)・面接を行います。

■試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験区分	採用予定人員	主な職務内容
看護師	計100名程度	附属病院における看護師業務
助産師		附属病院における助産師業務

■採用予定日

平成28年 4月1日 ※早期採用あり

■勤務場所

和歌山県立医科大学附属病院(和歌山市)
※看護師は紀北分院(かつらぎ町)に異動することがあります。

問い合わせ先 医科大学事務局総務課 073-447-2300 (内線)5718

看護職員と研修医の合同研修について

スキルスラボセンターを使用したフィジカルアセスメント研修を看護職員と研修医の合同で開催しました。研修は、11グループに分かれ、1グループは看護職員3人、研修医1人で編成され、準備に20分、シミュレーション25分、ディブリーフィング45分の計1時間30分の内容でした。

自分たちのシミュレーションを録画した映像を見ながら行動を振り返ることで、改めて気づくことが多く、実りある研修となりました。



新人看護職員臨床研修修了式

平成27年3月26日15時から平成26年度新人看護職員臨床研修修了式が開催され、64名の新人看護職員一人ひとりに修了証が手渡されました。

入職から1年間、集合研修や各部署で開催された学習会を受講し、必要な知識や技術を習得しました。

修了書を手し、成長した自分自身を実感し、4月から先輩看護師としてステップアップすることを期待しています。



ミャンマー連邦共和国との 学術交流について

本学の岡村学長ほか5名の教職員が、平成27年1月26日から5日間の日程でミャンマー連邦共和国を訪問しました。昨年5月にミャンマー保健省医科学局の代表者が本学を訪れ、締結された学術交流協定に基づき、今後の具体的な交流内容を協議することが目的です。

訪問団は、在ミャンマー日本国大使館、ミャンマー連邦共和国保健省、ヤンゴン第一医科大学、ヤンゴン総合病院、ヤンゴン看護大学、JICAミャンマー事務所等を歴訪し、意見交換を行うとともに現地の医療状況を視察しました。

今後は、ヤンゴン第一医科大学やヤンゴン看護大学との大学間での協定を締結し、医師、看護師、技術者の育成や基礎臨床面の技術指導を含めた学術交流を進めていく予定です。



ヤンゴン第一医科大学での意見交換

「第2回がんのリハビリテーション研修会in和歌山」を開催しました

1月31日(土)、2月1日(日)の2日間、「第2回がんのリハビリテーション研修会in和歌山」を開催しました。当院では、平成19年から積極的ながん周術期リハビリテーションを実施していますが、医療者の更なるレベルアップを目的として、昨年度から標記研修会を開催しています。



2回目となった今回も県内外から14施設69名の医師、看護師、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士に受講いただきました。がん診療やリハビリテーションに関する講義に加え、グループワークや同職種間での情報交換等を実施し、受講者のレベルアップのみならず日頃の疑問や悩みの解決につながりました。がん治療の進歩により、「がんと共に生きることが可能」となった今、患者さんがより質の高い人生が送れるよう「がんのリハビリテーション」の発展に今後も努めていきます。

予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「**予約制**」とさせていただきます。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」**にて地域連携室にFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、**予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

地域連携室
FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※毎週金曜日は試行的に18:00まで受付しています。

■ご本人からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などで紹介状**をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「**当院予約センター**」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、**紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

電話予約センター
電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:30～17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

看護師・助産師募集中

※募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。
または下記までお問い合わせください。

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。

TEL 073-441-0711 (事務局総務課)
<http://www.wakayama-med.ac.jp>
公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺811-1

病院ボランティア募集

みなさまの温かいお力をお待ちしております。

外来または病棟で、患者さんが安心して治療を受けることができるようボランティアの方を募集しています。

活動時間
問い合わせ先

外来①: 8時50分～11時30分
外来②: 11時50分～14時50分
病棟: 病棟と調整の上決定します。
(活動時間はいずれも調整可能です。)

※対象: 平日に活動して下さる18歳以上の方
詳細はお問い合わせください。

和歌山県立医科大学附属病院
代表: 073-447-2300
医事課 ボランティア担当

患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざま医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようになるため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。